

令和2年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実際に動植物を間近で見る経験やじっくり観察する時間を確保した結果、高学年では生命・地球分野の学習における観察の技能や思考の力が伸びたものがある。

(2) 課題

- ・自然事象や実験への関心はあるものの、基本的な知識や理解に結び付いていない。
- ・理科で学習した用語や実験器具の名前、その使い方の理解につまずきが見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	関心意欲態度▼16.9 思考・判断・表現▼16.7 技能 ▼10.0 知識・理解 ▼21.7	/	/
第5学年	関心意欲態度▼11.2 思考・判断・表現▼4.9 技能 ▼15.5 知識・理解 ▼13.0	関心意欲態度△0.5 思考・判断・表現▼4.6 技能 △7.1 知識・理解 ▼10.3 (第4学年時)	/
第6学年	関心意欲態度▼10.1 思考・判断・表現▼11.0 技能 ▼12.4 知識・理解 ▼11.6	関心意欲態度▼13.4 思考・判断・表現▼9.9 技能 ▼13.3 知識・理解 ▼11.4 (第5学年時)	関心意欲態度▼7.7 思考・判断・表現▼7.8 技能 ▼7.6 知識・理解 ▼7.4 (第4学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の順序、トンボの腹の位置、日なたと日かげの温度など、特に生命・地球分野において基本的な知識が定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識が定着していないため、日常事象における条件に着目して知識を活用する問題に苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を読み取る力や集中力に課題が多い。問題の意図自体が理解できず無回答が目立つ。特に、記述問題でその傾向が強く見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 目標値に近かったり到達していたりするものもある。 5学年では、物の温まり方や体積で空気や水の性質の理解が不十分である。 人のたんじょうやオオカマキリの1年間の様子など、実際に身近に観察できない内容の知識の定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識は備わっているものの、日常事象における条件に着目して、知識を関係付けながら問題を解決することに課題がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の説明をする等の記述問題において無回答が多い。説明したり自分の考えを表現しようとしたりするといった意欲に課題がある。

3 授業改善のポイント (観点別)

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 教師が言葉や実験結果を補いながら、知識を一般化させて定着させるため、まとめの時間を十分に設けるようにする。 他教科の学習でも、用語や語句に触れるよう教師が心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の導入では、なるべく児童に身近な事象を取り上げるようにする。 まとめの段階では、様々な日常現象を解決する活動に取り組み、知識の定着を図ると共に活用する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験の目的を児童に問いかける等、何を解決するために活動しているのか、問題に立ち返らせて意図を確認する指導を繰り返す。 考察等での記述の前には友達と考えを伝え合う時間を設け、自信をもたせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを、テスト前などにまとめを書かせたり、適応問題などを実施したりして、インプットした知識をアウトプットして理解を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識を使うレポートなどを実施し、学習したことと結び付けていく。左記のように知識の定着を図り、それを使えるように自信をもたせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科の学習したことに自信がもてるように、反復して問題を解いたり、単元のまとめで学習したことを再確認したりするなどしていく。